

平成 30 年 11 月 14 日

報道機関 各位

第 11 回「人文知」コレギウム

人と人, 人と社会

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的を開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります（※「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味）。

12月5日（水）に第11回を開催します。今回は、林夏生（社会文化コース准教授）「韓国のLGBTコミュニティをとりまく現状－プライド・イベントの現場から見えてくるもの－」、小野直子（国際文化論コース教授）「アメリカにおける福祉政策と市民の境界線－生殖をめぐるポリティクス－」の2名の発表となります。詳細は、別添チラシをご参照ください。

なお、本研究会は、一般の方や学生の聴講も可能です。聴講は無料です。また事前申込不要ですが、ウェブでの申し込みも受け付けています。

(<http://www.diversitylounge.jp/collegium/postmail.html>)

つきましては当日の取材・報道方、よろしくお取り計らい願います。

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学 人文学部総務課
TEL. 076-445-6131

第11回 人文知コレギウム

一般の方の
聴講歓迎・
事前申し込み
不要・無料

人と人、
人と社会

2018年12月5日（水） 13:30-15:30
富山大学人文学部 3階第6講義室

韓国のLGBTコミュニティをとりまく現状－プライド・イベントの現場から見えてくるもの－

林 夏生（国際関係論） 13:30～14:30

韓国の「クィア文化祝祭」は、LGBTなどの性的少数者の権利擁護を目指すイベントとして2000年から毎年開催されてきたが、2014年頃から「反対派」による激しい妨害にも遭遇しはじめた。その現場から見えてくる現状と変化について、フィールドワークの成果や日本との比較等を交え、紹介・検討する。

アメリカにおける福祉政策と市民の境界線－生殖をめぐるポリシークス－

小野直子（国際文化論） 14:30～15:30

現在日本では、旧優生保護法下で強制不妊手術が実施された問題が注目を集めている。しかし、強制不妊手術が法制化されたのは日本だけではなく。本発表では強制不妊化政策において先駆的役割を果たしたアメリカ合衆国に焦点を当て、その思想と実態を福祉政策との関連から考察する。